

井原市 市民活動センター

つどえ〜る通信

《発行所》
 井原市市民活動センター
 715-0019 井原市井原町352-1
 TEL0866-62-9090 (FAX兼)
<http://www.ibara.ne.jp/~katudou/>
 E-mail:katudou@ibara.ne.jp
 編集/NPO法人市民交流
 ネットワーク井原

人気は体験観光

つどえ〜る会 講演

本年度初のつどえ〜る講演会が5月17日、平成26年度旅の文化奨励賞を受賞した就実大学准教授・八巻恵子氏を招いて開かれ、約70人が受講しました。

就実 八巻恵子准教授招く

この日のテーマは「まちづくりと旅の文化」。八巻氏は国際線客室乗務員の経験を活かした視点から、全国のまちづくりに取り組んでいる地域や団体の事例を挙げ「また行きたくなるまちづくり」の大切さを強調。事前に井原を訪れ、市内の街並みを調査した八



観光資源もさまざま

交流でリピーター増加を

■人口減少や衰退も視点を交えれば一種の観光資源。静かな集落を訪ねる趣味の人も多い。

■子どものころから地域学習をおけば、故郷に誇りを持てる。

■連携は重要。しかし、形式だけに終わりがちなので要注意。

■井原駅に上りと下りの電車が止まっている光景を見たら、鉄道オタクに伝えたい。

■でんちゅうくんはい。でも可愛いだけでは

協働作品です

つどえ〜るリーフレット

倉掛パソコンクラブがこのほど、つどえ〜るの三つ折りリーフレットを作成し、井原市協働推進課が市内の業者で200

だめ。強いキャラを活かした漫画などで町のストーリーをつくってみるのも面白い。観光とまちづくりはセットの時代。皆でお宝さがしを。

■観光客に見てもらいたくなく、地元住民と交流すればより関心度が増し、リピーターになってもらえる。

(講演会より抜粋)



各駅はまちの観光拠点＝井原駅

巻氏は「井原は魅力あるまち。地元の方々にとっては何でもない光景で

も、外部から訪れた人たちには新鮮に受け止められる要素を含んでいることが多い。アイデアを持ち寄れば、新たな観光資源が見つかります」と述べ、近隣地域との観光連携を呼び掛けました。

つどえ〜る講演会を楽しみにしているという井原町の男性は「大変勉強になりました。まずは市民が広報マンの意識を持たねば…」などと話していました。

展示パネルで活動のPRを

つどえ〜る

つどえ〜るの展示パネル(縦180cm×横120cm)7枚は、さまざまな情報を伝えるお手軽な掲示板。地域や団体が発行するミニコミ紙の紹介をはじめ、国や県のPRコーナーとしても役立っています。

利用希望者はつどえ〜る事務局へ。

集え〜るからつどえ〜るへ

20人が施設見学

NPO法人笠岡を元気にする会が運営している「集え〜る・ひまわり」の会員20人が5月1日、井原市のつどえ〜るを訪れました。

一行はバスで芳井町周辺を観光した後、つどえ〜るへ到着。早速に館内を見て回り、施設の設置目的や利用状況等に関する説明を聞きました。

笠岡市の「集え〜る・ひまわり」は、障がいを持つ人たちがや外出困難な高齢者が集える場として平成25年7月、同市内の商店街にオープン。中高年の憩いの場として親しまれています。



センターを拠点に活動している団体。施設の窓口にはPR用パンフレットがな

つどえ～る登録33団体

(☑はNPO団体)
(氏名は代表者)

- 備中西商工会青年部美星支部 (坂川 順一)
- ☑まちづくり岡山ネットワーク (吉澤万千子)
- さくらの家 (落合 清三)
- 櫻の杜塾 (安木 正明)
- 鳥羽踊り保存会 (藤井 護)
- プラント (吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会 (中島 知子)
- ☑はっぴいひろばとまとさん家 (井上 咲子)
- ☑井原はばたき会 (中島 知子)
- 3.11 忘れないプロジェクト (上田 勝義)
- 井原BBQ (細羽 宏子)
- 五味会 (宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原 (北川 有紀)
- 井原備中神楽保存会・小中学 (藤井 和海)
- 生伝承教室 (細羽 正敏)
- 倉掛自治連合会 (岩崎 おもちゃ病院 (岩崎 勲)
- ☑ビビッド経ケ丸 (鳥越恵治郎)
- 井原市文化協会洋画部 (原田 晋作)
- 井原スポーツ少年団BBC (高木 繁光)
- たかやランニングクラブ (高木 完二)
- 井原ライトクラブ (三宅美恵子)
- 井原市グラウンドゴルフ協会 (大元 重明)
- 美星会 (曾根 勝)
- 猪清サロン スミレクラブ (橋本 房子)
- 井原手話サークル (妹尾 一成)
- サロンあすは (浅野 毅)
- 緑のカーテンコンテスト実行委員会 (安井佐代子)
- ☑あんしん (片山 守)
- 北山ひまわり会 (三宅 康子)
- 井原にほんご教室 (井上 輝彦)
- ☑やさい塾 (藤井 裕史)
- めだかの集い (畑地 泉)
- 井原笑いヨガ・きらきら (大坪 正廣)
- ☑市民交流ネットワーク井原

鉄砲隊が演武

井原桜まつり 井原町まちづくりの会



井原町まちづくりの会 (中島知子会長・つどえ～る登録団体)主催の井原桜まつりが4月4日、5日、桜橋公園一帯で開かれ、多くの市民や観光客が訪れました。初日の4日は、井原公民館をスタートして桜橋公園に至るお花見ウォーキングや、バンド演奏などが行われました。この日の目玉である備

空砲音にビックリ

州岡山城鉄砲隊の演武は午前10時半、甲冑や陣羽織を身にまとい、太鼓を打ちながら小田川河川敷へ登場。戦国時代をほうふつさせる勇壮な演武が始まると、火縄銃の大

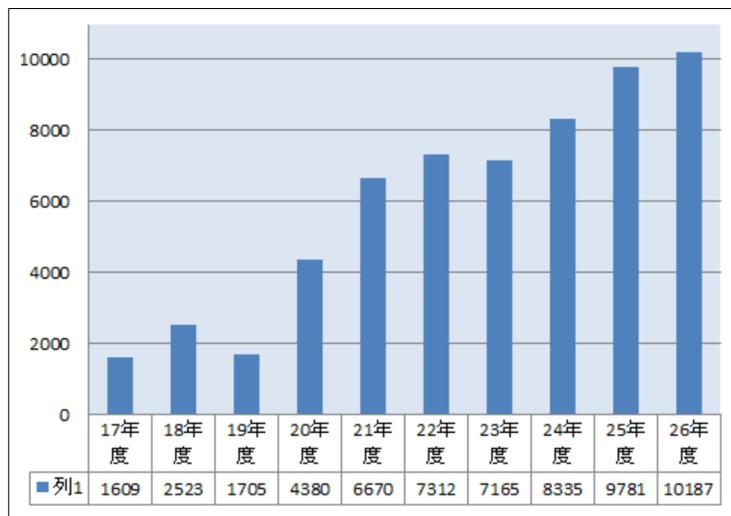
きな空砲音と銃口から飛び出す火煙に観客らは「すごい迫力じゃ」などと驚いていました。翌5日は道中おどりや和太鼓の演奏、子ども神楽などで賑わいました。

つどえ～るの平成26年度年間利用者が前期5093人、後期5094人と初めて1万人を超えました。つどえ～るの関係者は、「登録団体とともに一般の方々気軽に立ち寄ってくださるようになってきました。開設10年目に入館者が年間1万人を超えたことは皆さまのおかげ。一層のご利用を」と呼び掛けています。

つどえ～る 年間利用者 1万人超

26平成年度

10年目に到達



間団体が管理運営する指定管理者制度をつどえ～るに導入しました。

■まちアートマネジメント講座

地域の空きスペースを利用した文化芸術イベントを企画コーディネーター養成講座の受講者を募集中。「イベントをやるには?」「広報は?」「地域ににぎわいを」などの思いを持っている方を対象として、イベントを企画・実施するために必要な知識や手法を学びます。

◇ ◇

対象者：岡山県在住で文化を活用した地域づくりに挑戦したい大学生以上の方。

募集人員：20人程度
募集期限：5月29日(土)17時まで
申込方法：申込書を郵送 E-mail可 machiart@o-bunran.jp
申込先：岡山市北区天神町8-54 岡山県文化連盟内まちアートマネジメント講座実行委員会事務局 086-234-4626

三二情報

選考方法：提出書類により選考
選考結果：6月中旬に申込者へ郵送
受講料：年間5,000円(交通費、自主活動費は受講者負担)

■助成金応募ガイド

助成財団センターから、ガイドブック「NPO・市民活動のための助成金応募ガイド2015」が発行されました。NPO法人やボランティア団体などには必携の一冊です。

公募プログラムを持つ助成545団体を抽出して掲載。前年度版より84団体(117プログラム)増えています。さらに「助成金応募の手引き」、「助成例(助成決定課題)」が収録されています。



つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・ミニ会議室
注) コピー印刷等は実費が必要です
注) 本施設は公益的事業以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
注) 倉庫の使用はご遠慮願います
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室 (机15・椅子30)
9:00~17:00 1時間 200円
17:00~21:00 1時間 300円
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
注) ただし月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館
注) ご利用には事前の申し込みが必要